

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

5- -4

5-
-4

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	グリーン・ツーリズム等の推進
節	・佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信		
事業(施策)名	4 ブルー・ツーリズム普及促進	事業主体	佐渡市観光振興課
		関連団体	県観光振興課、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光振興課、佐渡市農林水産課、県観光協会、佐渡観光協会
事業実施期間	H28～H34		
事業概要	【事業目的】	都市住民の多様なニーズに対応したブルー・ツーリズムの推進により、滞在型観光客の増加とリピーターの確保並びに漁村環境の整備と地域活性化を図る。	
	【事業内容】	関係機関と連携を図りながら、コンテンツ(プログラム)の明確化を図り、ターゲットを絞った戦略的な広報を行う。	
⑨事業計画と実績	【29年度計画】	小学校を対象とした漁村受け入れ体験の推進し、漁業体験を400人予定する。	
	【29年度実績】	市内小学校1校から30人の受入を行った。 佐渡さんぼでのマリンスポーツや教育体験旅行ガイドブックによる 漁業体験のPRを行った。 長野市、会津若松市での教育体験旅行ガイドブックを活用したセールス活動を行った。	
課題・今後の取組	【課題】	市内での体験ニーズは小学生が中心であるが、修学旅行で訪問する学校が減少している。 これまで小学生を対象に漁家民泊体験などを実施してきたが、コンテンツの整理、明確化には至っていない。	
	【今後の取組】	新潟市内や長野、福島県に修学旅行の営業を行うとともに、佐渡 地域観光交流ネットワークと連携した効果的な広報宣伝を行う。 受入先となる地域や受入漁業家の育成を目指す。	
事業評価	【事業の達成度】 (a・b・c)	当初計画に基づきセールス活動を実施したが当初計画では、昨年度の実績見込みを基に計画したが、本年度は、グリーンツーリズムとブルーツーリズムを同時にセールス活動を行った結果、多くの小学校が生きもの調査体験ができるグリーンツーリズムを中心に選択したため、目標に達しなかった。; 目標数に足っていないことから本評価とした。 満足度をあげる体験プログラムの造成や受入農家育成を進める。	
	【事業実施の効果】 (a・b・c)		
	【総合評価】 (A・B・C)		

a: 進んでいる。 高い。
b: 概ね順調。 概ね適切。
c: 遅れている。 低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。